

2015年度 法科大学院 第2期既修者入学試験問題

2時限

民法

(論文式)

試験時間 60分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民法]

設 問 1

無権代理責任の成立要件をすべて挙げなさい。

設 問 2

Yは、父親Aに無断でA所有の甲土地につきAの代理人としてXとの間で売買契約を締結した。その後、Aが死亡し、Yは、母親BとともにAの権利・義務を各2分の1の割合で共同相続した。

かりにYの無権代理責任が成立するとして、Xは、Yに対して、Yの相続分の範囲で甲土地の売買契約が有効になることを前提にYの持分につき移転登記手続を請求することができるか検討しなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)